

志布志港 国際バルク戦略港湾 選定に向けた計画書



1. 応募者の概要

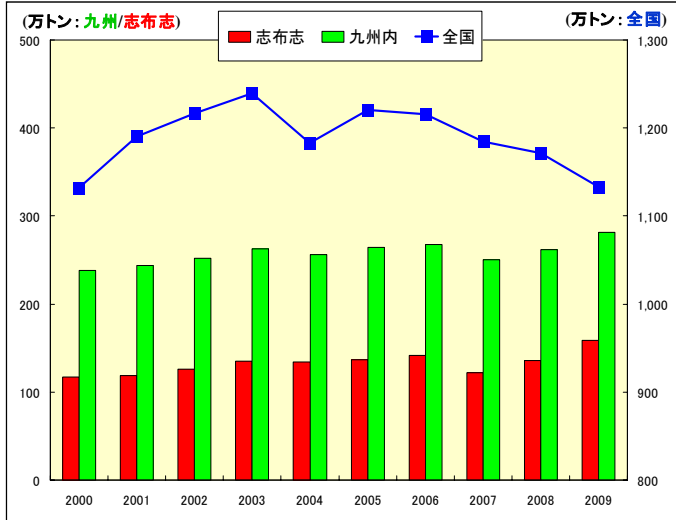
応募港湾名称	志布志港
応募者（港湾管理者）	鹿児島県
応募対象品目	穀物（とうもろこし）
対象ユーザー名称	<ul style="list-style-type: none">・ 志布志サイロ(株)・ 全農サイロ(株) 志布志支店・ (株)上組 志布志支店

2. 志布志港の概要

① 飼料原料の取扱量

○志布志港における飼料原料である”とうもろこし”の輸入量は増加してきており、全国の約12%を占め、国内2位の207万トン(H20)の取扱い

飼料用とうもろこしの輸入量の推移



出典:「貿易統計」より

輸入量(とうもろこし)港湾ランキング

順位	H17	H18	H19	H20	
				港湾	シェア
1位	鹿島港	鹿島港	鹿島港	鹿島港	18.4%
2位	水島港	志布志港	名古屋港	志布志港	12.4%
3位	名古屋港	名古屋港	志布志港	水島港	10.0%
4位	志布志港	水島港	水島港	名古屋港	9.7%
5位	衣浦港	衣浦港	衣浦港	衣浦港	7.5%
6位	
7位	鹿児島港	鹿児島港	5.0%
8位	鹿児島港	鹿児島港	

出典:「港湾統計」より

② 穀物輸入基地としての志布志港の役割

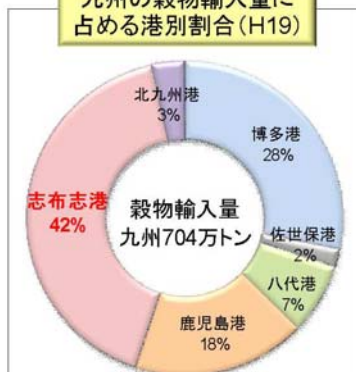
○志布志港は九州各港、沖縄、四国への主原料供給基地

○鹿児島港は沖縄や鹿児島県離島への副原料供給基地

→ : 外貨
→ : 内貨

- ①貨物量
- ②主な品目
- ③主な原産国

九州の穀物輸入量に占める港別割合(H19)



※特重・重要港湾のみ計上
※熊本港・細島港は0.1%未満

出典:「港湾統計(H19)」より

穀物の主な移出状況(H19)

<輸入>

- ①1,983千トン
- ②動植物性製造飼肥料、麦等
- ③米国(東西不明)、豪州

博多

- ①91千トン
- ②とうもろこし等

北九州

- ①46千トン
- ②とうもろこし等

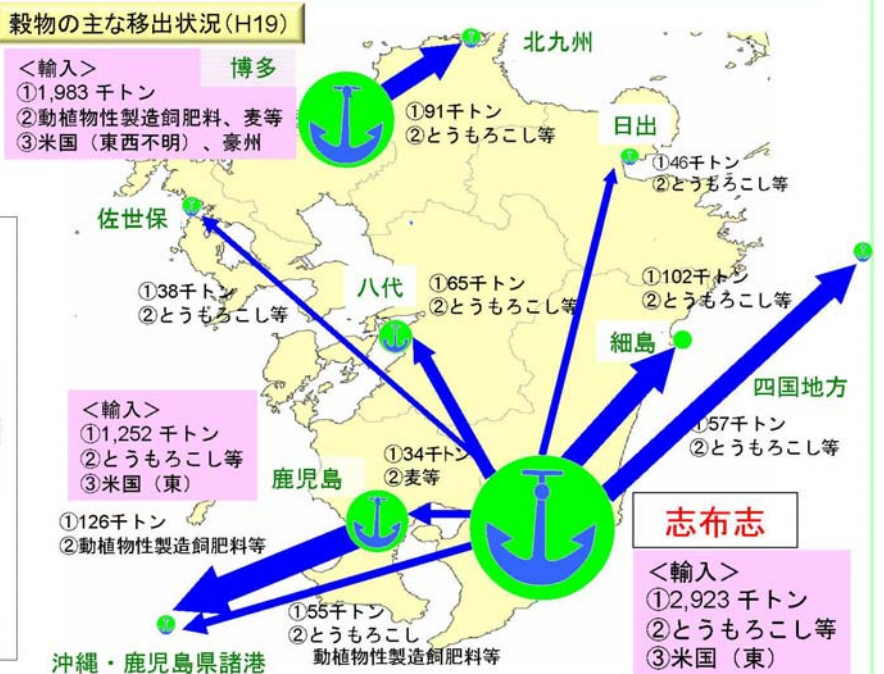
日出

- ①102千トン
- ②とうもろこし等

細島

- ①57千トン
- ②とうもろこし等

四国地方



<輸入>

- ①1,252千トン
- ②とうもろこし等
- ③米国(東)

佐世保

- ①38千トン
- ②とうもろこし等

八代

- ①65千トン
- ②とうもろこし等

鹿児島

- ①34千トン
- ②麦等

志布志

- ①2,923千トン
- ②とうもろこし等
- ③米国(東)

沖繩・鹿児島県諸港

<輸入>

- ①126千トン
- ②動植物性製造飼肥料等

鹿島

- ①55千トン
- ②とうもろこし

水島

- ①102千トン
- ②とうもろこし等

志布志

- ①2,923千トン
- ②とうもろこし等
- ③米国(東)

志布志

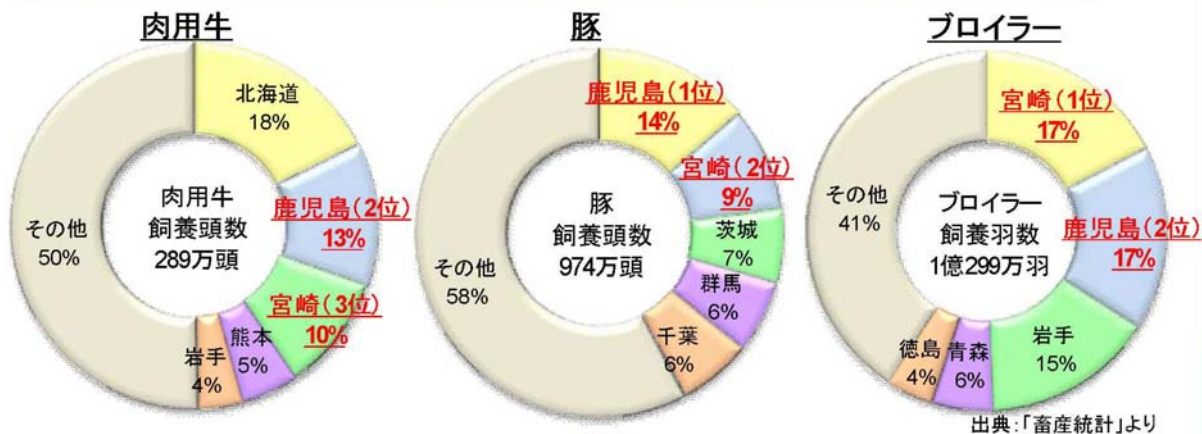
- ①2,923千トン
- ②とうもろこし等
- ③米国(東)

志布志

3. 畜産王国九州の姿

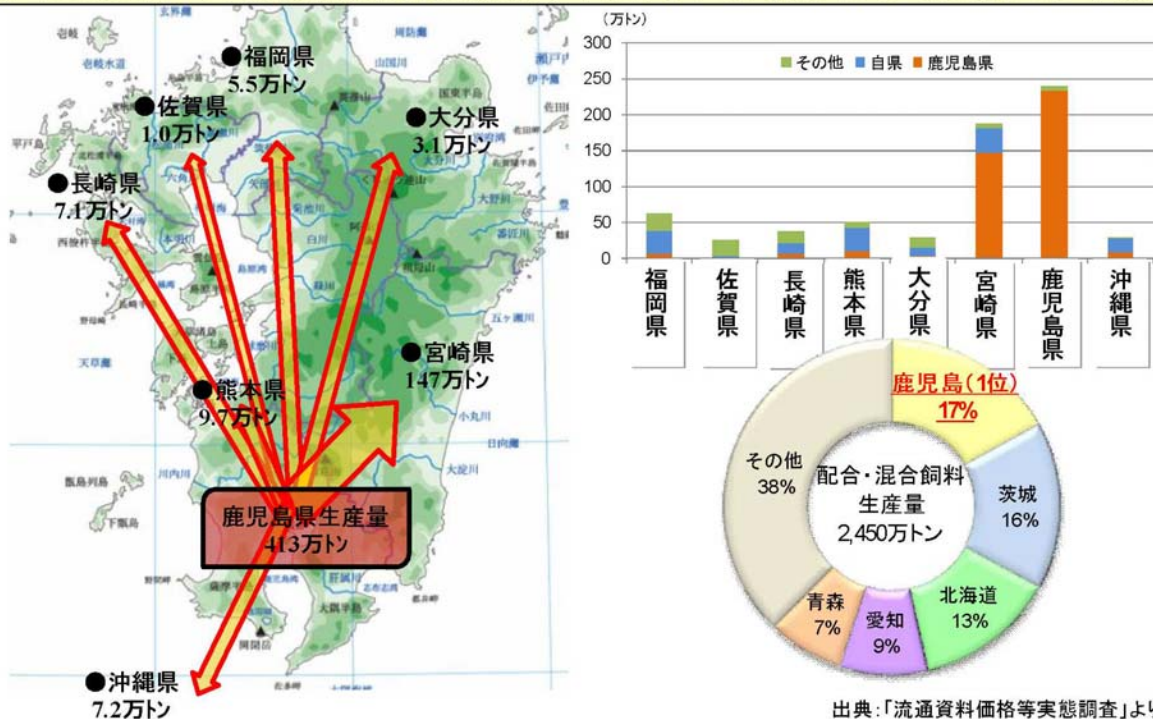
①九州の畜産シェアと鹿児島県ブランド

○鹿児島県、宮崎県とも日本有数のブランド肉と家畜数を誇る



②鹿児島県の飼料生産と九州内の流動状況（平成20年）

○生産量国内1位の鹿児島県飼料は県内のみならず、宮崎県をはじめ九州各地に供給



4. 志布志港が目指す将来像

①国際バルク戦略港湾としての目的

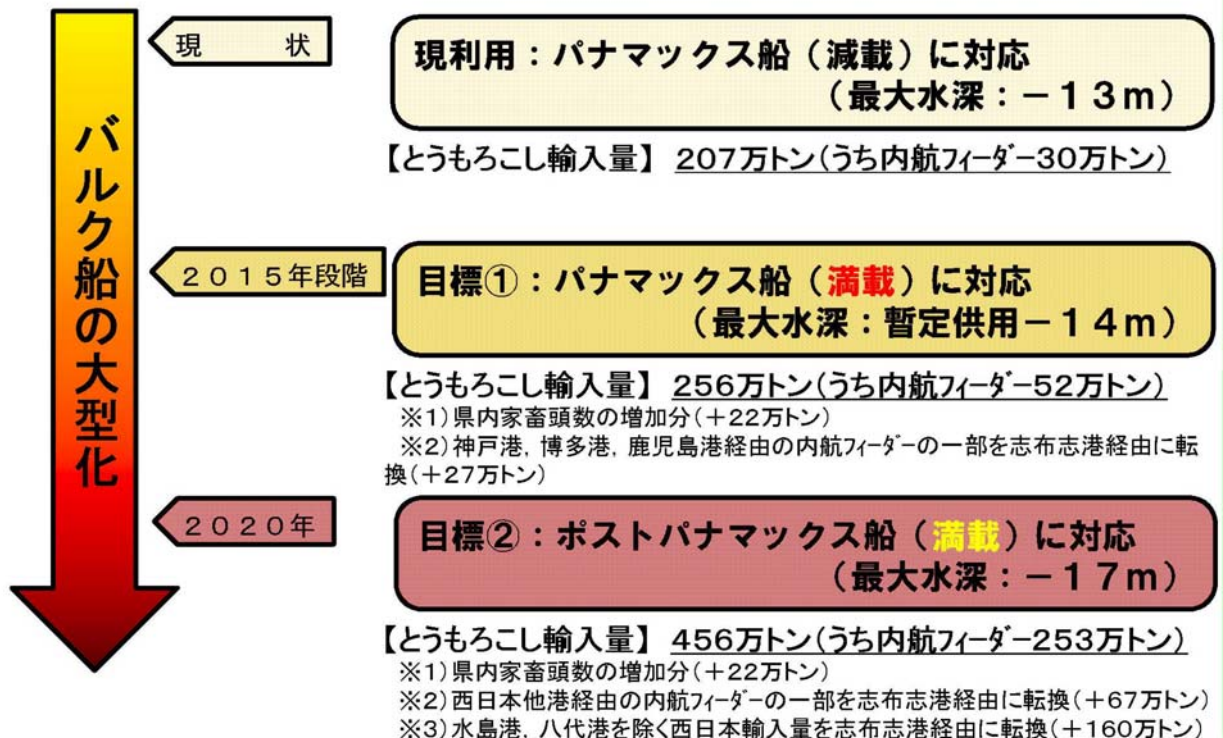
①飼料穀物(とうもろこし)の世界的獲得競争に勝ち抜くための戦略港湾

- ★アジア主要港と遜色のない物流コスト・サービスの実現
- ★南九州をはじめとする畜産農家に安価で安定した飼料の供給
- ★飼料生産を支える志布志港の飼料穀物の輸入・配分機能の強化

②国民生活に不可欠な安全な食肉を安定的かつ安価に供給

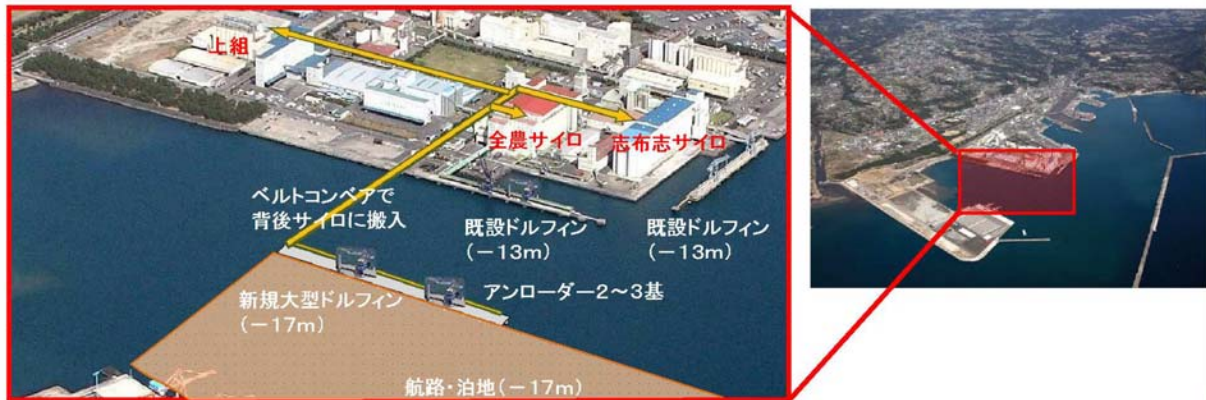
- ★鹿児島県・宮崎県をはじめとする畜産農家の維持
- ★国内有数を誇る家畜数の維持・増殖
- ★口蹄疫で疲弊した畜産業界の早期復興を支援

②志布志港の目標と将来需要の見通し

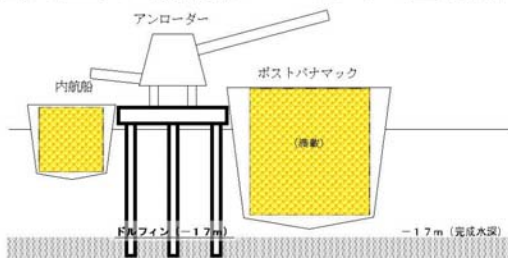


5. 国際バルク戦略港湾政策の実現のための方策

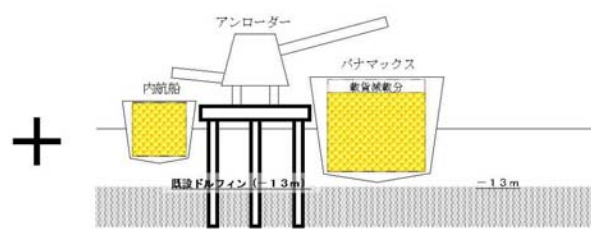
①大型船舶に対応した港湾機能の拠点的確保



【大型の新規ターミナル整備】

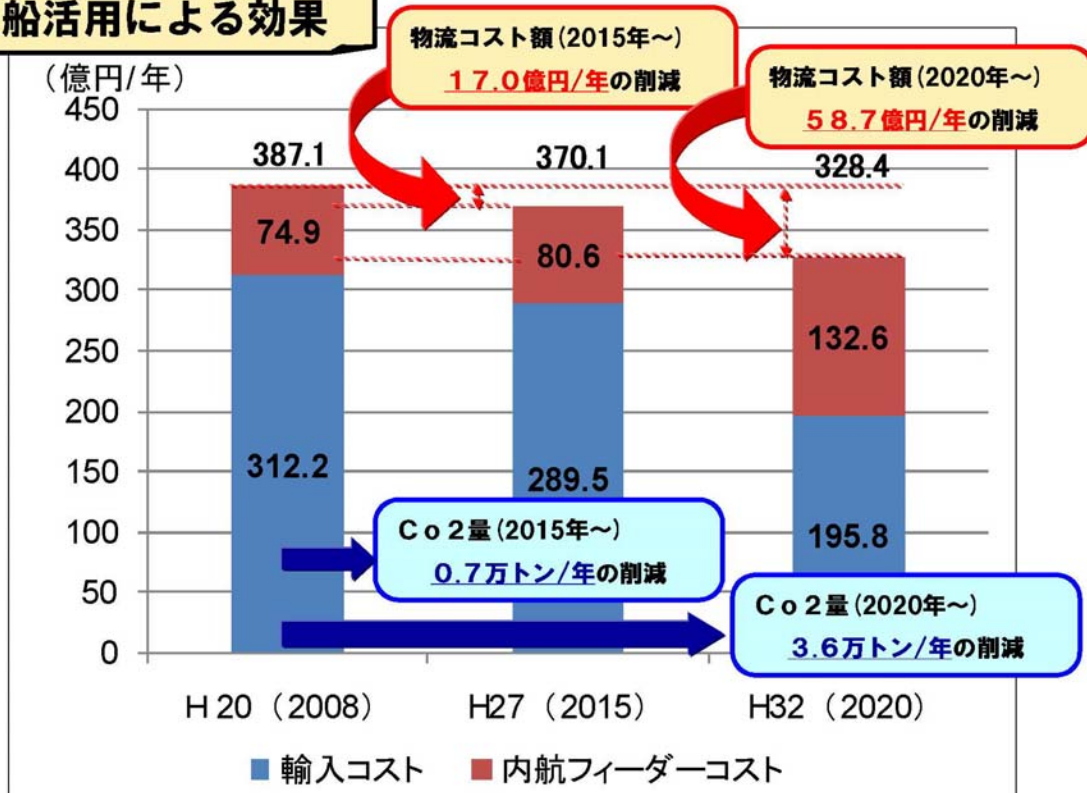


【既設ドルフィンの継続利用】



6. 国際バルク戦略港湾政策の効果 (物流コスト等削減)

大型船活用による効果

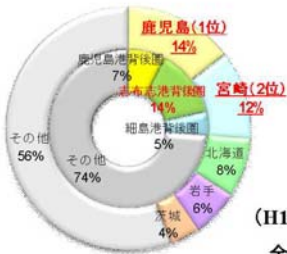


7. 国際バルク戦略港湾政策の実現のための体制等

① 地理的優位性

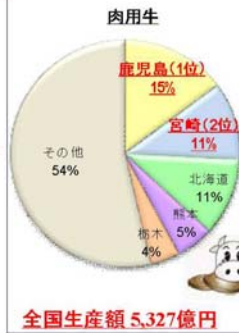
- ①生産量日本一を誇る飼料工場群が背後に立地
- ②全国トップクラスの食肉生産地域に近接

肉類(肉用牛・豚肉・鶏肉)生産額(H20)



(H18)肉類(牛・豚・鶏)
全国生産額1.3兆円

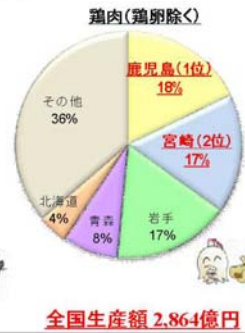
各肉生産額(H20)



全国生産額 5,327億円



全国生産額 5,837億円



全国生産額 2,864億円

志布志港背後圏が占める割合(H18)

上位の鹿児島県と宮崎県の両県に跨る志布志港背後圏が全国の14%

(凡例)

志布志港背後圏:大隅半島、宮崎県南部
鹿児島港背後圏:薩摩半島、鹿児島県離島
細島港背後圏:宮崎県北部・中部

出典:「生産農業所得統計」より

③ 背後の道路アクセス整備による更なる輸送時間等の短縮(志布志～都城間70分⇒40分)が期待

東九州自動車道

【加治木JCT～志布志】
整備延長82km
(45km開通, 37km整備中)

都城志布志道路

【都城JCT～志布志】
整備延長40km
(8km開通, 21km整備中)



志布志港

2020年
概成

②物理的優位性

- ①既に航路・泊地-14mが確保されており、安価かつ早期に供用
- ②既設の飼料関係施設(専用ドルフィン, サイロ等)に近接
- ③既設の飼料関係施設の有効利用が可能
(3社サイロ能力37万トン)



③実現のための体制

- 2010年～「志布志港湾振興協議会・国際バルク戦略港湾選定推進検討部会」設置, 官民連携で計画書作成
- 2012年～「志布志港バルクターミナル運営検討協議会」設置・検討
- 2015年～サイロ3社による共同利用(バース利用調整)
- 2020年～「志布志港バルクターミナル協議会」による共同運営

